

ツバキ（椿）は、日本や中国などを原産とする常緑性の花木で、日本には自生するものもあり、万葉集に歌われるほどに古くから日本人に親しまれた植物です。光沢と厚みのある葉をもち、花の少ない冬、二月に花を咲かせていち早く春を告げてくれます。

真っ赤な花の印象が強い椿ですが、近年では赤のほか、ピンクや白、黄、といった様々な色があり、花の形も、一重、八重、唐子咲きと、実に多様な園芸品種が栽培されていて、その数は300種を超えともいわれています。品種を選びことによって、春までの長い期間、花を楽しむことができます。花びらが一枚ずつ落ちるのではなく、花ごとボトリと落ちるのが特徴です。



お手入れメモ

ツバキは、寒さや暑さに気にすることもなく育てることが出来る日本の気候にあった植物です。

＊開花時期 主に2月～3月

＊特性 日陰に強いが、寒気や乾いた風を嫌います。

＊水やり 特に気を使うことはなく、乾いたらたっぷりと水やりをしてください。

＊その他 枝がたくさん伸びてきたら剪定をしましょう。また毛虫が発生したら葉ごと処分してください。

